



## ***Digital Wireless Portable Sound System***



### **取扱説明書**

**デジタルワイヤレスポータブルスピーカーシステム**

**GPA-580DU**

**GPA-580DB**

## はじめに

このたびは、デジタルワイヤレスポータブルスピーカーシステム GPA-580 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の際は本取扱説明書をお読みの上、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

付属品や別売品は販売店でお求めいただけます。

## 目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	1
お取扱いのご注意・メンテナンス	2
ワイヤレスポータブルサウンドシステム	3
各部の名前と主な機能	4
操作パネル	5
デジタルワイヤレスレシーバーの操作パネル DR-600	6
デジタルオーディオプレーヤーの操作パネル UM-502	8
Bluetooth レシーバーの操作パネル BX-501	10
デジタルハンド型ワイヤレスマイクロホン EJ-601TM	11
デジタルペンダント型ワイヤレスマイクロホン EJ-6T	14
製品仕様	17
同梱品について	19
別売オプション	20
故障かな？と思ったら	22
保証書	24

## 安全上のご注意（必ずお守りください）



この表示は、してはいけない禁止行為です。



この表示は、実行しなければならない内容です。



### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



本機を湿気や雨水が当たる場所に置かないでください。ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。



指定以外の電源は使用しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。



電池交換の際は、交換する電池と元の電池が同じ仕様であることを確認してください。不適切な電池は爆発を招いたり正常に動作できなくなったりする可能性があります。



乾電池は充電しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電する危険性があります。



本機を分解、改造しないでください。



### 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



外部から強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。故障の原因になります。



異常に温度が高くなる場所に置かないでください。温度が高くなりすぎて火災の原因になることがあります。



油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。



長期間使わない時は、マイクから電池を取り出してください。液漏れ・発熱を起こすことがあります。

### デジタルワイヤレススピーカー GPA-580シリーズ お取り扱いのご注意

#### 初めてご使用になる前に、必ず充電してください。



本機GPA-580シリーズは充電用電池を内蔵しています。本製品開封後初めてご使用になる前に、少なくとも8時間充電してください。

工場出荷前に充電してありますが、長距離の輸送や長時間の保管により電池は自然に放電し、電力不足を起こしている場合があります。

電池寿命をできるだけ長く保つため、必ずこれらの動作をおこなってください。

#### 充電は定期的に行ってください。



本製品を長期間ご使用にならない場合は、保管する前にフル充電をおこなってください。なおかつ、毎月1回は充電し、電池の使用寿命を確保するとともに、最適な機能を維持するようにしてください。

長期間ご使用にならなかった後で再び使用する前に、フル充電をおこなってください。

電源をオフしてから少なくとも8時間のフル充電を行うことをお勧めします。

電池寿命を延ばすため、本製品使用後も再度フル充電をおこなってください。

#### 使用時に赤色の電源ランプが点滅した場合はすぐに電池を充電してください。



本機は電池自動遮断機能を有しています。電池使用時に電力が不足すると赤色の電源ランプが点滅し、電源は自動的に遮断され電池の過度な放電による損傷を防止します。

この現象が現れた場合は、すぐに電池を充電し、続けて使用しないでください。

本機は過負荷防止回路を搭載しており、電池の充電が終了すると自動的に充電を停止します。また電池充電中もスピーカーは正常にご使用いただけます。

### デジタルペンダント型ワイヤレスマイクロホン EJ-6T お取り扱いのご注意

#### 使用する前に、電池充電端子が清潔で腐食やサビがない状態であることを確認してください。



前述のいずれかの状況が見られる場合、本製品をお買い上げの販売店に連絡しメンテナンスや交換をおこなってください。

### ラベルについてのご注意

#### 証明ラベルをむやみに剥がさないでください。



本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明ラベルを剥がさないでください。

### 電池の廃棄・リサイクルについて



Pb



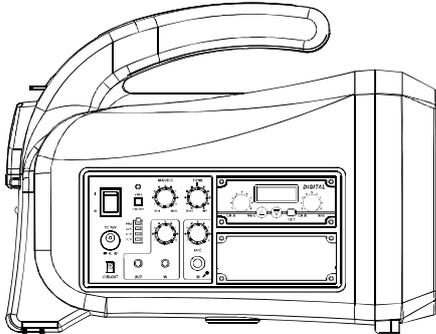
使用済みの電池の廃棄については、お住いの地域の廃棄規定に従ってください。電池はリサイクルすることが可能です。

電池の破壊、解体、焼却などの行為はやめてください。

# ワイヤレスポータブルサウンドシステム

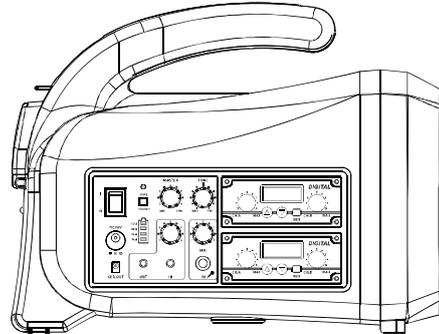
## GPA-580D1

ワイヤレスポータブルサウンドシステム  
1 レシーバー内蔵



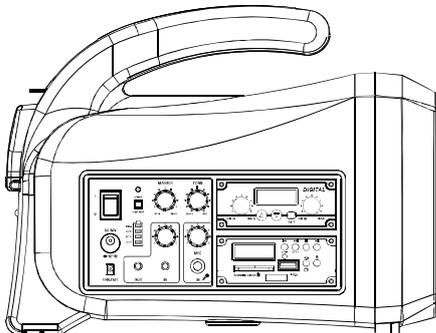
## GPA-580D2

ワイヤレスポータブルサウンドシステム  
2 レシーバー内蔵



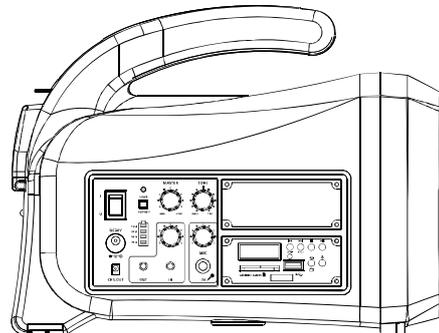
## GPA-580DU

ワイヤレスポータブルサウンドシステム  
1 レシーバー、1 オーディオプレイヤー内蔵



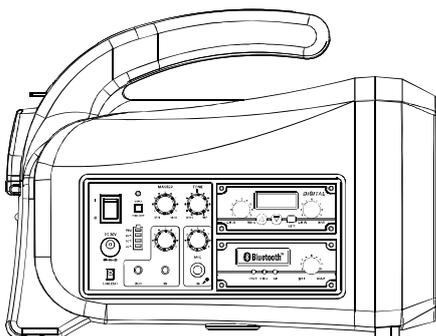
## GPA-580U

ポータブルアンプ内蔵スピーカー  
1 オーディオプレイヤー内蔵

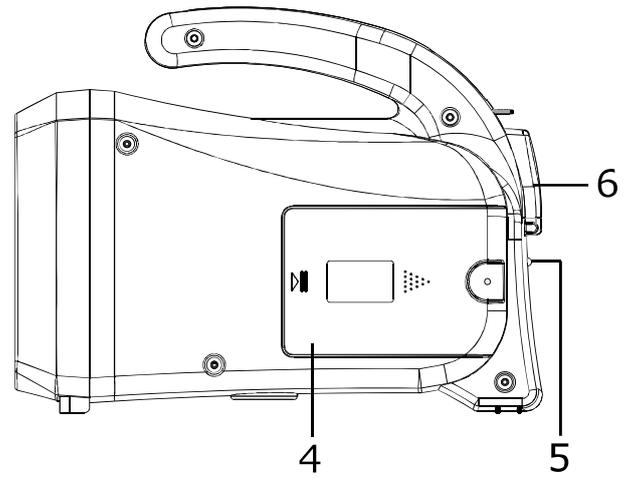
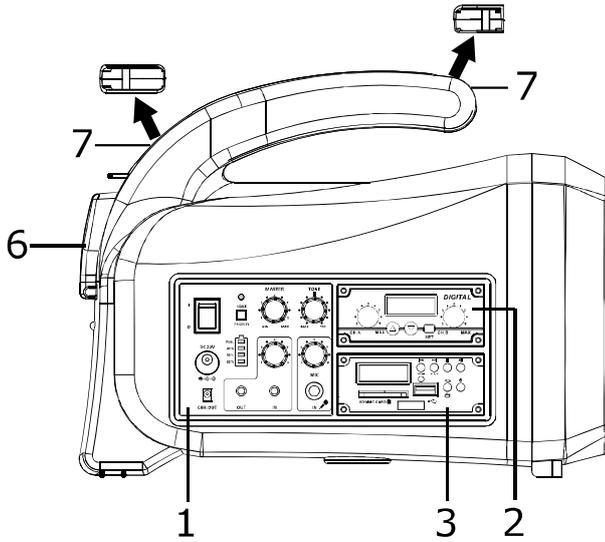


## GPA-580DB

ワイヤレスポータブルサウンドシステム  
1 レシーバー、1 Bluetooth モジュール内蔵



## 各部の名前と主な機能



1. 操作パネル、バッテリーメーター、  
マイク入力
2. デジタルワイヤレスレシーバー DR-600
3. デジタルオーディオプレーヤー UM-502

4. 電池カバー
5. ワイヤレスマイク充電ランプ
6. ワイヤレスマイク格納部・充電口
7. ストラップ取り付け穴

### 電池の交換※電池は必ず指定品をお使いください。



本体側面の電池カバーをプラス(+)  
ドライバーを使って外します。



電池を取り出します。



赤を(+)、黒を(-)に正しく接続してください。

### ワイヤレスマイク(EJ-601TM)をスピーカー内で充電する



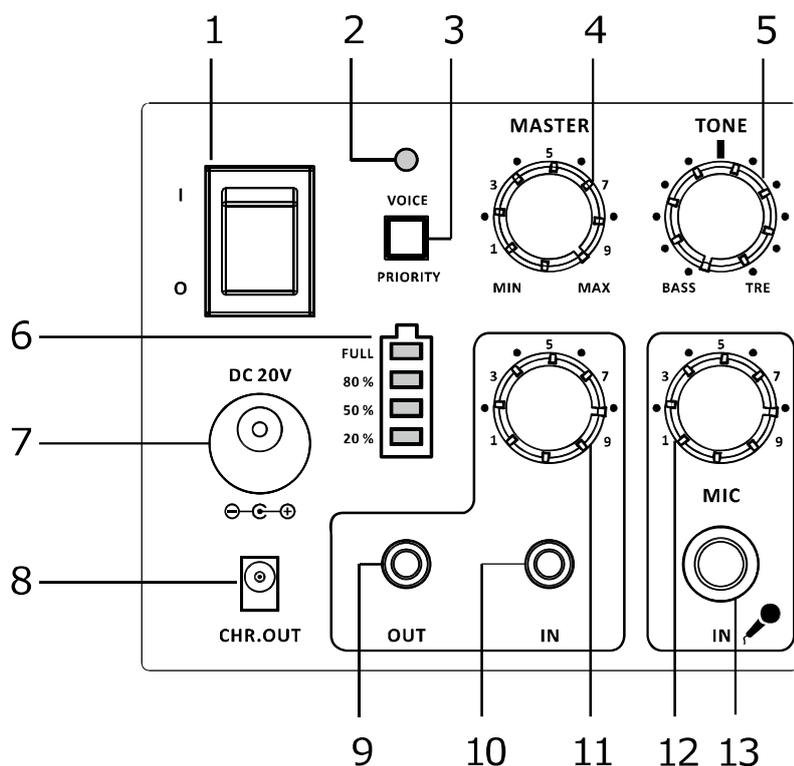
1. ワイヤレスマイクの電池蓋を外し、単三形ニッケル水素充電式電池(1900mAh 推奨)2本を+と-正しく装着します。
2. ワイヤレスマイクをスピーカーの格納部(6)に挿入し、スピーカー本体にACアダプターを接続し、充電します。



乾電池を充電しないでください。発熱、液漏れ、破裂の恐れがあり、たいへん危険です。



マイクをスピーカー内に格納したまま、スピーカーをACアダプターで接続するだけで、充電状態となりますのでご注意ください。



## 1. 電源スイッチ

## 2. トーク優先モード表示ランプ

## 3. トーク優先モード入/切スイッチ

スイッチを入れると (2) の表示ランプが点灯します。ワイヤレスマイク、有線マイクの音声を優先的に出力し、同時に再生されているBGM等の音量が下がります。

## 4. マスターボリューム調整ダイヤル

全ての音源の音量を調整します。

## 5. トーン調整ダイヤル

全ての出力信号を制御することができます。ダイヤルをセンターに合わせた場合、出力の音声は何も調整されていない状態となります。

## 6. バッテリーメーター

充電中…ランプが循環して点灯します  
 充電完了…FULL ランプが緑色に点灯  
 ※電池の容量が 20% より低下した場合、赤のランプが点滅しますのですぐに充電する必要があります。

## 7. DC 電源入力

## 8. 5V 充電出力端子 (ペンダント型マイク EJ-6T 用)

## 9. AUX 出力

アンプ及び PA システム用に出力が可能です。

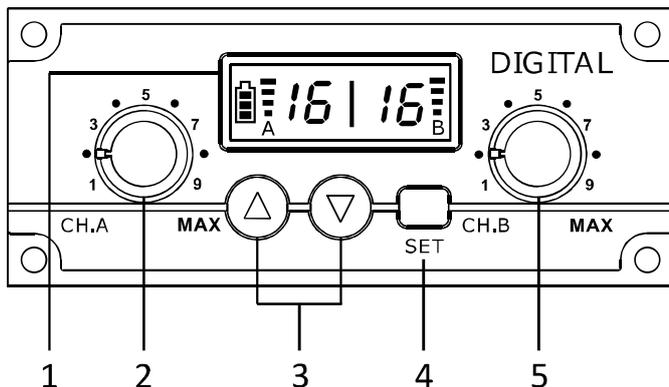
## 10. AUX 入力

音楽プレイヤー等の機器の入力ができます、(11)の調整ダイヤルで音量を調整できます。

## 11. AUX 調整ダイヤル

## 12. 有線マイクボリューム調整ダイヤル

## 13. 有線マイク入力



1. 液晶表示ウインドウ(チャンネル、信号、バッテリーメーター表示)
2. Aチャンネルの音量調節ダイヤル
3. チャンネル選択キー
4. SET(設定)キー
5. Bチャンネルの音量調節ダイヤル

## 操作方法

### 電源の入/切

1. 本機の電源を入れるとレシーバーも同時に起動し、液晶ディスプレイ表示 ON が点灯します。1～2秒後、ディスプレイにチャンネル表示が点灯します。
2. 本機の電源を切るとレシーバーも同時に切れます。液晶ディスプレイの表示が消灯し、OFF 2～3秒後にシャットダウンします。

### チャンネルの切り替え

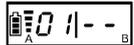
1. SET キー(4)を押し、チャンネル切り替えモードにします。チャンネル表示が点滅したら、△▽キーでチャンネルを選択してください。
2. チャンネルを選択したら、もう一度 SET キーを押してください。また、10秒以内にいずれのキーも押さなかった場合は、自動で戻ります。

### 動作範囲の切り替え

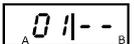
1. 電源が切れた状態で SET キーを押しながら、機器の電源を入れて設定モードにします。
2. Hi または Lo が点滅表示されますので、△▽キーでいずれかを選択してください。
3. SET キーをもう一度押してください。また、5秒以内にいずれのキーも押さなかった場合は、自動で戻ります。

## チャンネル合わせ

### ■ 2本のマイクがどちらもマスターの場合

- 最初に電源を入れたマイクが A チャンネル、次に電源を入れたマイクが B チャンネルに割り当てられます。
- A チャンネルのマイクの電源が切れた状態、または信号が届かない状態が 5 秒以上続いた場合は、B チャンネルのマイクが自動的に A に割り当てられます。 
- マイク使用時は 2 本とも 15 メートル以内の範囲でなければなりません。

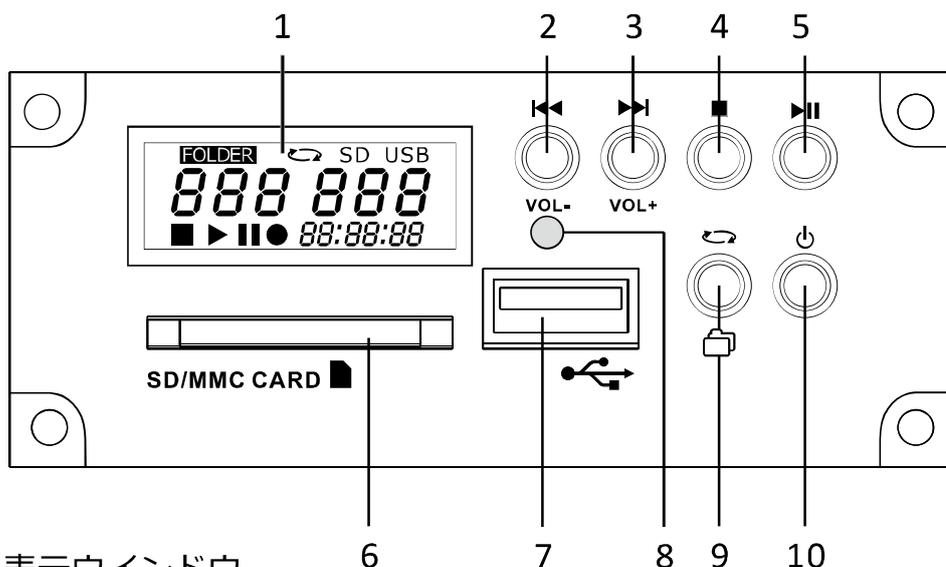
### ■ 2本のマイクのうち 1 本がマスター、1 本がスレーブの場合

- マスターのマイクが A チャンネル、スレーブのマイクは B チャンネルに割り当てられます。
- A のマイク(マスター)の電源が切れた状態、または信号が届かない状態が 5 秒以上続いた場合は、B のマイク(スレーブ)の電源が自動的に切れます。 
- スレーブ設定のマイクがプレストークモードの場合に限り、最大範囲で同期します。それ以外は 15 メートル以内の範囲となります。

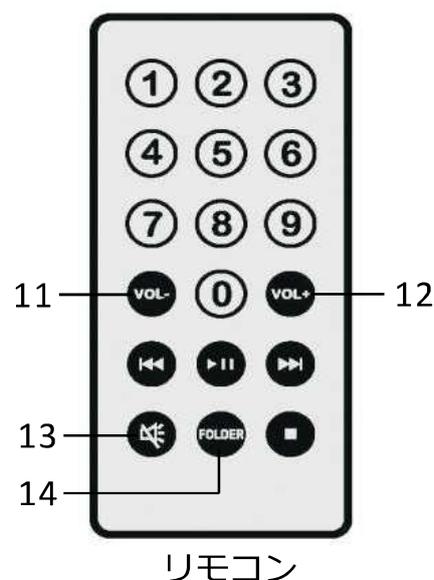
Okayo 2.4Ghz チャンネル表

2019.4.現在

CH A				CH B					
1	2403	MHz	2446	MHz	1	2403.5	MHz	2446.5	MHz
2	2405	MHz	2448	MHz	2	2405.5	MHz	2448.5	MHz
3	2407	MHz	2450	MHz	3	2407.5	MHz	2450.5	MHz
4	2409	MHz	2452	MHz	4	2409.5	MHz	2452.5	MHz
5	2411	MHz	2454	MHz	5	2411.5	MHz	2454.5	MHz
6	2413	MHz	2456	MHz	6	2413.5	MHz	2456.5	MHz
7	2418	MHz	2458	MHz	7	2418.5	MHz	2458.5	MHz
8	2420	MHz	2460	MHz	8	2420.5	MHz	2460.5	MHz
9	2422	MHz	2462	MHz	9	2422.5	MHz	2462.5	MHz
10	2424	MHz	2464	MHz	10	2424.5	MHz	2464.5	MHz
11	2426	MHz	2466	MHz	11	2426.5	MHz	2466.5	MHz
12	2428	MHz	2468	MHz	12	2428.5	MHz	2468.5	MHz
13	2436	MHz	2470	MHz	13	2436.5	MHz	2470.5	MHz
14	2438	MHz	2474	MHz	14	2438.5	MHz	2474.5	MHz
15	2442	MHz	2476	MHz	15	2442.5	MHz	2476.5	MHz
16	2444	MHz	2478	MHz	16	2444.5	MHz	2478.5	MHz



1. 液晶表示ウィンドウ
2. 停止中…前のトラック、再生中…ボリュームダウン
3. 停止中…次のトラック、再生中…ボリュームアップ
4. 停止
5. 再生／一時停止
6. SD / MMC カードスロット
7. USB ポート
8. センサー
9. リピート／フォルダ選択
10. 電源ボタン
11. ボリュームダウン
12. ボリュームアップ
13. 消音
14. フォルダ選択



## 操作方法

1. 電源ボタン を 1 秒間長押しすると電源が入ります。再び 1 秒間長押しすると電源が切れます。
2. ボタンで前のトラックを再生します。 ボタンで次のトラックを再生、 ボタンで停止します。
3. ボタンで一時停止／一時停止から再び再生します。
4. SD カード、USB ポートの両方に挿入した場合は、USB の方が優先されます。
5. SD カードを無理に引き出さないでください。故障するおそれがあります。SD カードを軽く指で押し込み、離すと取り出すことができます。

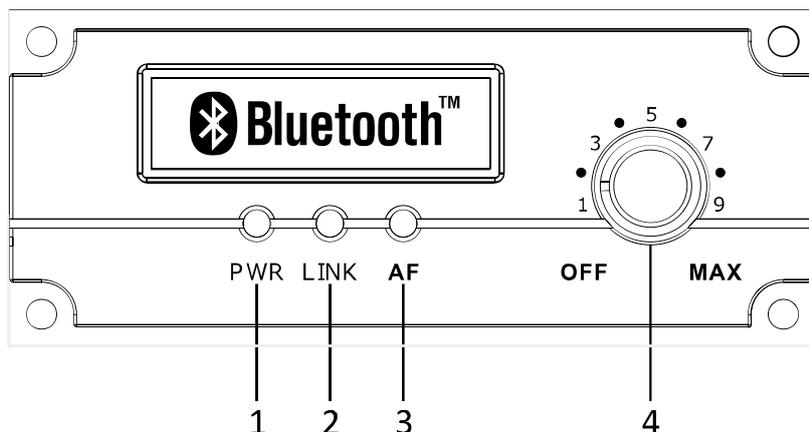
## 6. リピート／フォルダ選択

再生中の3つのリピートモード

-  1つのトラックを繰り返し再生します。
-  全てのアルバムの全てのトラックを繰り返し再生します。
-  1つのアルバムの全てのトラックを繰り返し再生します。

停止中の場合、 ボタンで再生したいアルバムのフォルダが選択できます。  
NEXT、PREV ボタンで設定し、PLAY で決定します。

## 7. 再生中に VOL- を押すとボリュームを下げ、VOL+ でボリュームを上げます。

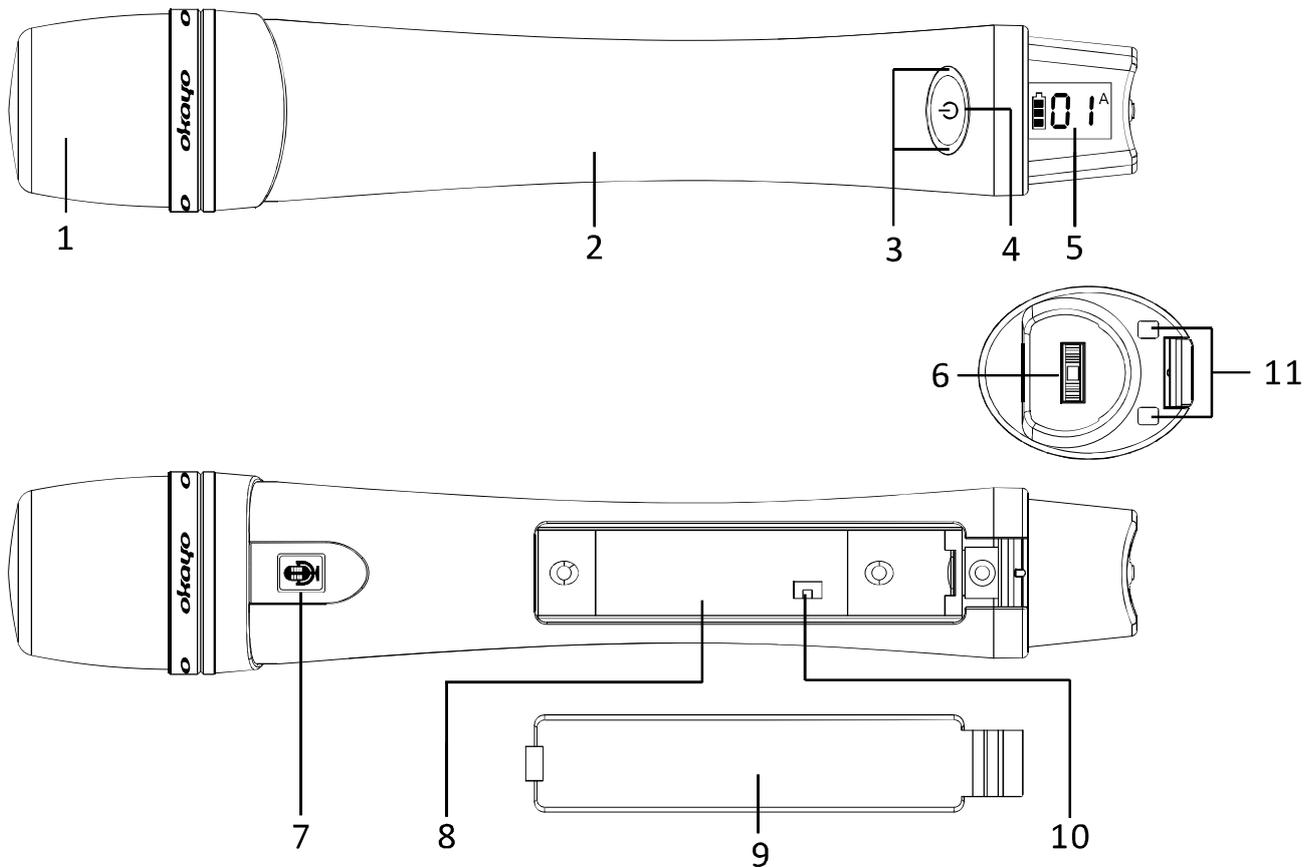


1. 電源ランプ
2. Bluetooth 接続表示ランプ
3. 音声表示ランプ
4. 電源入/切、ボリュームダイヤル

## 操作方法

1. Bluetooth 機能を有効にするにはダイヤル(4)を右にまわして電源を入れます。
2. チャイムが鳴り電源ランプが青色に点灯します。Bluetooth 接続表示ランプが青色に点滅するとペアリングを実行しているサインです。
3. ペアリング・モード時にスマートフォンなどの接続したい端末の Bluetooth 接続を起動させます。「okayo GPA」がペアリングリストに現れますので、それを選択します。
4. ペアリングが正常に完了すると、再びチャイムでお知らせします。ランプ表示は青色が常時点灯した状態になります。これでスマートフォンから Bluetooth 経由で音声を流す設定が完了しました。
5. 音量はスマートフォンかボリュームダイヤルで調節します。
6. Bluetooth レシーバーから音声信号が受信されると、音声表示ランプが緑色に光ります。
7. 再生中に電話の着信があった場合、電話に出ると音声ストリーミングは中断します。通話が終了すると、Bluetooth モジュールは自動的に再接続し、再生が再開※されます。
8. Bluetooth の接続圏外に移動した場合、圏内に戻ってくるまで音声ストリーミングは中断されます。
9. Bluetooth のスイッチをオフにすると、再びチャイムでお知らせします。

※再生側の設定によります。



- 1. メッシュヘッド
- 2. 持ち手
- 3. 電源ランプ
- 4. 電源ボタン
- 5. 液晶ウインドウ
- 6. 設定ダイヤル
- 7. トーク/ミュートボタン
- 8. 電池ホルダー
- 9. 電池カバー
- 10. マスター/スレーブスイッチ
- 11. 充電接触端子

## 電池の入れ方



1. 写真のバネを押し電池蓋を外します。単三形ニッケル水素充電式電池(1900mAh 推奨)またはアルカリ乾電池を2本入れます。

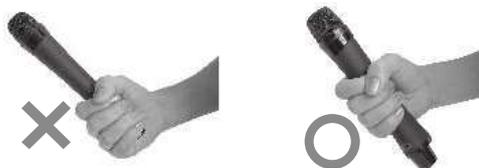


2. 電池を入れる際は+と-が正しい方向になるよう確認してください。

3. 電池が落ちないように、電池カバー(9)を正しく取り付け、ロックされたことを確認してください。

## 正しい持ち方

使用時は、マイク下部の RF 信号発信部を握らないようにしてください。



## 操作と設定

### 電源を入れる

電源を入れるには、電池を正しく入れた後、電源ボタンを長押しします。電源が入ると電源ランプ(3)が点灯します。

電源ボタンの青いランプはバッテリーが十分であることを示し、赤いランプはバッテリーが不足していることを示します。

### 音量を調節する

設定ダイヤル(6)を押し、スクロールアップまたはダウンで音量を調節できます。

### マスター/スレーブモード設定

バッテリーを取り外すと、マスター/スレーブモードスイッチ(10)が見えます。

- スイッチをマスターに設定すると、初期設定では A チャンネルになっていますが、すでに使われている場合は自動的に B チャンネルに切り替わります。
- スレーブモードに設定すると、B チャンネルに設定され、液晶表示には B のマークが点灯します。

### トーク/ミュートモードまたはプレストークモード

マイクはトーク/ミュートモードまたはプレストークモードに設定できます。

### モードを切り替える

1. 電源オフの状態ですべて設定ダイヤル(6)を押したまま電源を入れると設定モードに入ります。
2. ディスプレイには  (トーク/ミュートモード)、または  (プレストークモード) と表示されますので、設定ダイヤル(6)で切り替えた後、もう一度設定ダイヤル(6)を押すか 5 秒以上どのボタンも押さない場合自動的に設定を完了します。

### トーク/ミュートモードでの使い方

- トーク/ミュートモードの場合、トーク/ミュートボタン(7)が青色に点灯している状態がトーク状態になり、通話ができます。
- マイクをミュート状態にするには、トーク/ミュートボタン(7)を押します。このときボタンは赤色に点灯し、マイクは音を拾いません。

## プレトークモードでの使い方

- マイクの設定がマスターモードのとき  
話すときだけトーク/ミュートボタン(7)を押し続けます(ランプは青色)。ボタンから手を放すと、マイクはミュート状態となり、ランプは赤色に点灯します。
- マイクの設定がスレーブモードのとき  
マスター(Aチャンネル)のマイクが使われていない場合はBチャンネルのマイクは使用できません。  
このモードのとき、何も操作しないまま30分経過しても、自動で電源は切れません。

## チャンネル合わせ

- 電源を入れるとマイクが自動的にチャンネル合わせをします。
- チャンネル合わせが正常に完了すると、トーク/ミュートボタンが青色に点灯し、液晶ウィンドウにチャンネル番号が表示されます。チャンネル合わせに失敗すると、トーク/ミュートボタンが赤色に点灯し、チャンネル番号は表示されません。
- マイクがマスターモードに設定されている場合
  - ①自動的にAチャンネルに設定され、Aチャンネルがすでに使われているときは、Bチャンネルに切り替わります。
  - ②Aチャンネルのマイクの電源を切ると、Bチャンネルのマイクは自動でAチャンネルに切り替わります。
- マイクをスレーブモードに設定した場合
  - ①Bチャンネルは、Aチャンネルが存在するときのみ動作します。
  - ②Aチャンネルを使用していない場合、電源は入りますが通話はできません。
  - ③Aチャンネルの電源を切ると、Bチャンネルも自動的に切れます。
- チャンネル合わせの距離は15m以内です。
- 30分以上使用しなかった場合は、マイクの電源が切れます。

## 電源を切る

マイクの電源を切るには、電源ボタン(4)を2～3秒間長押しします。液晶ウィンドウに「OF」が表示された後、電源が切れます。

## マイクを充電するには

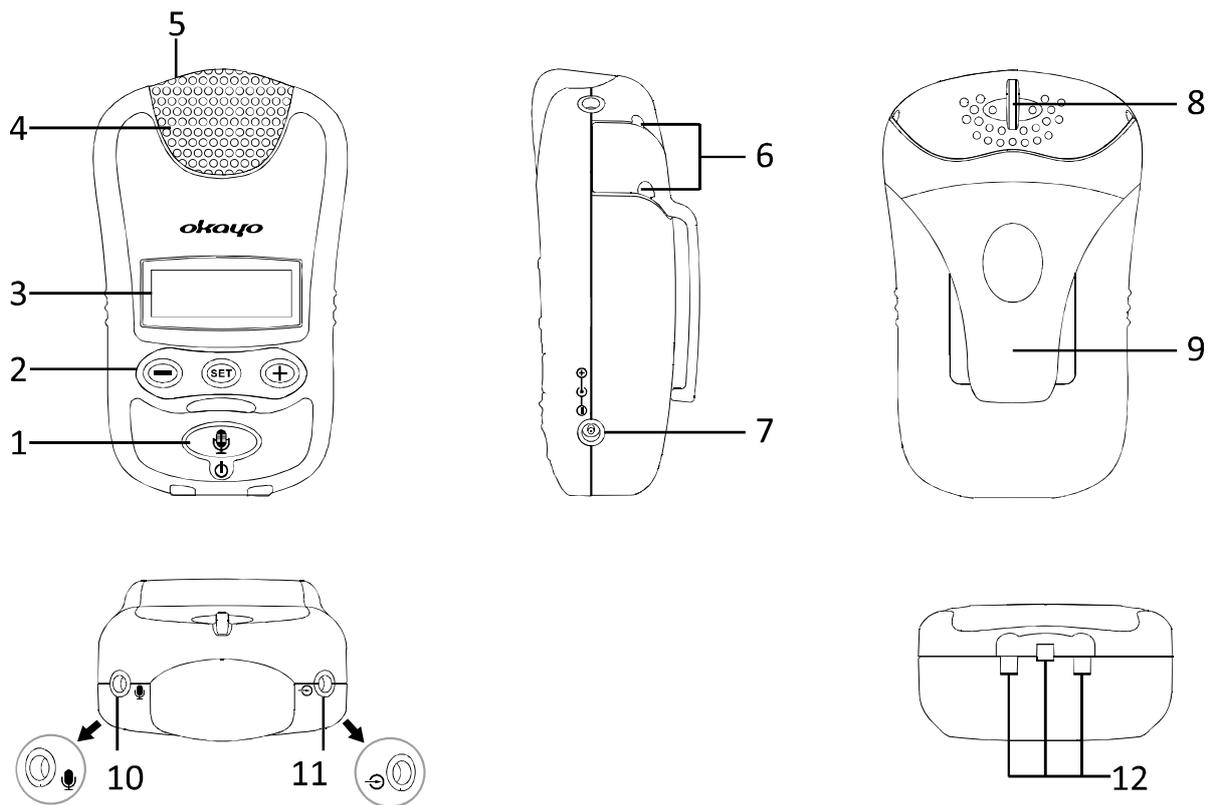
マイクに別売の単三形1.2Vニッケル水素充電式電池を入れ、別売の充電器HDC-502を使用し、マイクを充電できます。



乾電池を充電しないでください。発熱、液漏れ、破裂の恐れがあり、たいへん危険です。



マイクを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。



- |                              |                 |                       |
|------------------------------|-----------------|-----------------------|
| 1. 電源/ミュートボタン<br>(ミュート表示ランプ) | 5. 充電表示ランプ(内蔵)  | 9. ベルトストッパー           |
| 2. 設定ボタン                     | 6. 首掛け用ストラップ穴   | 10. マイク入力ジャック         |
| 3. 液晶ディスプレイ                  | 7. DC 5V 充電入力端子 | 11. Aux 入力ジャック        |
| 4. マイク                       | 8. ストラップ用穴      | 12. 据置型充電器用充電<br>接触端子 |

## 設定と取り付け

### 電源を入れる

- 電源/ミュートボタン (1) を約 1 秒間押すと電源が入り、液晶ディスプレイのバックライトが点灯します。
- On の表示 →チャンネル合わせ状態 →自動チャンネル合わせ完了後、電池容量及びチャンネルを表示します。
- チャンネル合わせ状態が 30 分を超えると、自動的に電源が切れます。

### 電源を切る

- いかなる状態でも電源/ミュートボタン (1) を 2 秒以上押すと電源が切れます。
- 液晶ディスプレイが OFF を表示し、その後液晶ディスプレイと全てのランプが消えます。

## トーク／ミュートモード切替

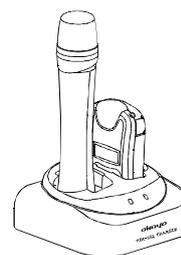
1. ディスプレイにチャンネルが表示されている状態で電源／ミュートキー (1) を短く押すとトーク／ミュートモードを切り替えることができます。
2. ミュートモードの時はミュート表示ランプ赤色に点灯し、トークモードの時はミュート表示ランプが青色に点灯します。

## チャンネル合わせ

1. 電源を入れるとマイクが自動的にチャンネル合わせをします。
2. チャンネル合わせが正常に完了すると、電源／ミュートボタンが青色に点灯し、液晶ウィンドウにチャンネル番号が表示されます。チャンネル合わせに失敗すると、電源／ミュートボタンが青色に点滅し、チャンネル番号は表示されません。
3. マイクがマスターモードに設定されている場合、自動的に A チャンネルに設定され、A チャンネルがすでに使われているときは、B チャンネルに切り替わります。A チャンネルのマイクの電源を切ると、B チャンネルのマイクは自動で A チャンネルに切り替わります。
4. マイクをスレーブモードに設定した場合
  - ① B チャンネルは、A チャンネルが存在するときのみ動作します。
  - ② A チャンネルを使用していない場合、電源は入りますが通話はできません。
  - ③ A チャンネルの電源を切ると、B チャンネルも自動的に切れます。
5. チャンネル合わせの距離は 15m 以内です。
6. 30 分以上使用しなかった場合は、マイクの電源が切れます。

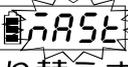
## 充電モード

1. 充電表示ランプ (5) が赤色の時：充電中。 充電表示ランプが緑色の時：充電完了。
2. 据置式充電器の場合、マイクの電源は自動的にオフとなります。
3. 電池の異常について：充電表示ランプが赤色に点滅し、液晶ディスプレイの電池マークが点滅すると電池異常を表しており、以下の状況が考えられます。
  - (1) 電池の充電温度が 60 °C を超えている。
  - (2) 充電時間が 7 時間を超えている。
  - (3) 電池の損壊。
4. 電力不足は信号の出力に影響を与えます。充電器 HDC-502 (別売) を組み合わせて充電を行ってください。



HDC-502

## マスター/スレーブモードの設定

1. 電源オフの状態、設定ボタン(2) (⊕・SET・⊖)を3つ同時に押しながら電源/ミュートボタン(1)を押すと設定モードに入ります。
2. ディスプレイに“Master”  または “Slave”  が点滅し、⊕または⊖ボタン(2)でモードを切り替えます。
3. 再度設定ボタン(2)を押して確定し終了するか、5秒以上どのボタンも押さなければ自動的に確定し終了します。

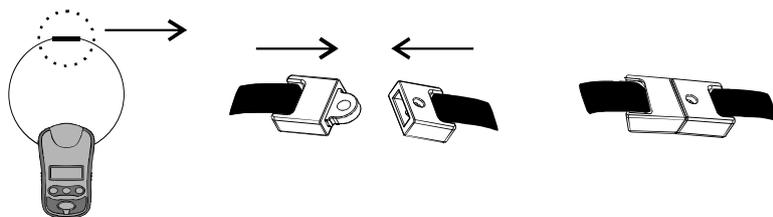
## ボリュームの調整

1. ディスプレイがチャンネルを表示している状態で⊕または⊖ボタン(2)を押すと現在の音量を表示します(ボリューム1～3)。
2. 再度⊕または⊖を押すとボリュームを調整することができ、2秒以上どのボタンも押さなければ自動的にボリューム切り替えモードを終了します。

## その他の操作

1. 任意のボタン(電源/ミュートボタン(1)以外)を押すと液晶ディスプレイバックライトが点灯し、10秒以上どのボタンも押さなければ液晶バックライトは消えます。

## 首掛けストラップの取り付け方法



※デジタルワイヤレスマイクの距離は下あごから10cm以内が理想的です。



最適な電池寿命を保つため、毎回ご使用後に充電し、使用されない場合でも最低3カ月に一度は充電してください。



電池交換の際は販売店に依頼し、お客様ご自身での電池交換はおやめください。

## ワイヤレスアンプ GPA-580

定格出力	40W(4Ω)
スピーカー	5 インチフルレンジ
デジタルプレーヤー	USB/SD メモリカード読み取り機能内蔵(※GPA-580DU) Bluetooth 対応(※GPA-580DB)
レシーバモジュール	2 セット(DR-600 モジュール)
音声入力	マイク端子 Ø6.3 MIC 端子, Ø3.5 AUX 端子(ステレオミックス)
音声出力	Ø3.5 AUX 端子(ステレオミックス)
ボリューム制御	レシーバモジュール、マスター、トーン、マイク、AUX
電源	AC100 ~ 240V 50-60Hz / DC20V 3.25A
電池	12V 2.9Ah 充電式鉛蓄電池
充電時間	約 8 時間(バッテリー)
使用時間	約 5 ~ 7 時間(バッテリー)
充電表示	FULL、80%、50%、20% の 4 段階
寸法	333 x 153 x 246 mm(奥行 x 幅 x 高さ)
質量	3.8 kg(電池を含む)

## ワイヤレスデジタルレシーバモジュール DR-600

周波数範囲	2.4 - 2.5 GHz
チャンネル数	16 チャンネル
液晶ディスプレイ表示	チャンネル、電池容量、電波強度
調整キー	SET 設定、上へ、下へ
使用帯域幅	最大 75 MHz
使用温度範囲	-10° C ~ 50° C
全高調波歪率	1 % 未満
周波数特性	70 Hz ~ 18 kHz
使用距離	30 メートル以下

## デジタルミュージックプレーヤーモジュール UM-502 (※GPA-580DU/GPA-680DU のみ)

周波数範囲	20 Hz - 20 kHz
電源供給	DC 12 V
表示状態	液晶表示
出力レベル	600 mV
対応フォーマット	MP3 形式 (MPEG1 Audio Layer3)
S / N 比	60 dB 以上
全高調波歪率	1 % 未満
リモコン距離	3m 未満
再生コントロールキー	PLAY、STOP、REPEAT、NEXT、PREV
対応 SD カード	SD/SDHC カード (容量 32GB まで) ※SDXC は除く
対応 USB メモリ	USB メモリ (容量 32GB まで)

## ワイヤレスデジタルハンドマイク EJ-601TM

マイクユニット	コンデンサ式
アンテナ	コンシールド式
空中線電力	Max 10 dBm
ボリューム制御	Talk、Mute スイッチ
電源供給	単 3 形 1.2 V (ニッケル水素) 充電式電池 2 本 (1900mAh 推奨)、 または単 3 形 1.5 V アルカリ乾電池 2 本
連続使用時間	充電式電池 17 ~ 18 時間 / アルカリ乾電池 15 ~ 20 時間
寸法	直径 37x 長さ 200 (mm)
質量	91 g (電池を含む)

## デジタルペンダント型ワイヤレスマイク EJ-6T (※別売)

マイクユニット	コンデンサ式
アンテナ	コンシールド式
空中線電力	Max 10 dBm
オーディオ入力	Mic in、Aux in
マイク入力	3.5 mm
ボリューム制御	ミュートスイッチ、高、中、低レベル切り替え
電源供給	リチウム電池 1200 mAh
連続使用時間	24 時間
寸法	奥行 32 x 幅 52 x 高さ 88 (mm)
質量	77 g (電池を含む)

この取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。



スピーカー GPA-580DU/DB



スピーカー用 AC アダプター



デジタルハンド型  
ワイヤレスマイクロホン EJ-601TM  
※ハンド型マイクのセットに付属



デジタルペンダント型  
ワイヤレスマイクロホン EJ-6T  
※ペンダント型マイクのセットに付属



EJ-6T 用 AC アダプター  
※ペンダント型マイクのセットに付属



リモコン  
※GPA-580DU に付属



取扱説明書(本書)

## 別売オプション



キャリングバッグ OJCB-550



スピーカースタンド ST-S45



充電器 HDC-502



デジタルペンダント型  
ワイヤレスマイクロホン EJ-6T



デジタルハンド型  
ワイヤレスマイクロホン EJ-601TM



GPA-580 接続用 EJ-6T  
充電コード CA-CH580



スピーカー用 AC アダプター



EJ-6T 用 AC アダプター



デジタルオーディオプレーヤー  
UM-502 用リモコン

## 故障かな？と思ったら

### 電源が入らない

マイク	●電池が正確にセットされているかを確認してください。
スピーカー	●ACアダプターを使用する場合は、正規のアダプターが正しく接続されているかを確認してください。
共通	●電池の残量は十分あるかを確認してください。

### 音が出ない

スピーカー	●電源がオンになっているか、マスターボリューム調整ダイヤルが最小になっていないかを確認してください。
マイク	●ミュートモードになっていないか確認してください。
マイク	●マイク付近に大きな干渉源がないか確認してください。
共通	●マイクとスピーカーのデジタルワイヤレスレシーバーのチャンネルが同じかどうか確認してください。

### 音声が大きすぎる／小さすぎる

共通	●ボリュームを調整して適切な音量にしてください。
----	--------------------------

### 音量のフィードバックが大きい

共通	●マイクの音量と主音量を適切な大きさに調整してください。
----	------------------------------

### 充電できない

スピーカー	●正規のACアダプターを使用しているかを確認してください。
スピーカー	●ACアダプターが正しく接続されているかを確認してください。
スピーカー	●電池が正しく取り付けられているかをご確認ください。
スピーカー	●それでも充電できない場合は電池を交換してください。
マイク	●マイクと充電器の充電接触端子部分に埃がたまっていないかを確認してください。
マイク	 乾電池を充電しようとしていませんか？ 乾電池は充電に対応していませんので絶対にやめてください。

## 故障かな？と思ったら

### スピーカーの充電が始まらない

使用環境、使用状況、バッテリーの状態により、ACアダプターを接続してから充電インジケータが点灯するまでに約10秒～20秒程度かかる場合がありますが、故障ではありません。商品の個体差により、充電表示までの秒数が長くかかる場合がございます。

### スピーカーの充電が終わらない

使用環境、使用状況、バッテリーの状態により、8時間以上充電を行っても充電インジケータが停止しない場合がありますが、故障ではありません。商品の個体差により、表示された充電時間より長くかかる場合がございます。

【製造】



**OKAYO ELECTRONICS CO., LTD.**

【販売】



**okayo**  
Japan

**Okayo Japan 株式会社**

- 東京本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-2 東京タイムズタワー501号  
TEL:03-6261-3338 FAX:03-6261-3087
- 福岡オフィス 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目12-27 2F  
TEL:092-710-4688 FAX:092-710-4689
- 本店物流・テクニカルサポートセンター 〒852-8136 長崎県長崎市家野町5番19号  
TEL:095-801-8100 FAX:095-801-8080
- 台湾オフィス 104 台北市中山區南京東路2段101号10F  
TEL:+886-2-2511-1606 FAX:+886-2-2511-0199